

## 保証書(持ち込み修理)

品番:RM-242H

お客様	ご住所	〒										電話
	お名前	ふりがな										
保証期間	お買い上げ日		年		月		日	本体	1年	年	月	日まで
販売店	電話											

## ■ 修理の際は 下記の保証規定の範囲内で無償修理をさせていただきます。

※ 販売店印がない場合は無効ですので、必ず印の有無をご確認ください。もし印がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。または商品の着荷時の送り状を貼り付けてください。なお、本書は再発行しませんので大切に保管してください。

※ 販売店へのお願い  
お買い上げ日・貴店の住所・名称・電話番号を押印の上、お客様にお渡しください。

※保証期間内に故障して無償修理をお受けになる時は、商品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼下さい。

保証期間内でも次の場合は有料となります。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。  
 (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。  
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。  
 (ニ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷。  
 (ホ) 本書の提示がない場合。  
 (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字を書き換えられた場合。  
 (ト) 中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでのご購入、オークション購入での中古品を含む)  
 (チ) 本書は日本国内においてのみ有効です。

販売元 ROOMMATE<sup>®</sup> ダイヤモンドヘッド株式会社 輸入発売元 株式会社 KOM  
 〒108-0073 東京都港区三田2-7-13 TDS 三田ビル 6F 〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 3-4-4

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

## サービスセンター

TEL：0120-05-1783 ※受付時間：9：00～17：00（土・日祝日除く）  
 Eメール：info@kom408.com

## 取扱説明書

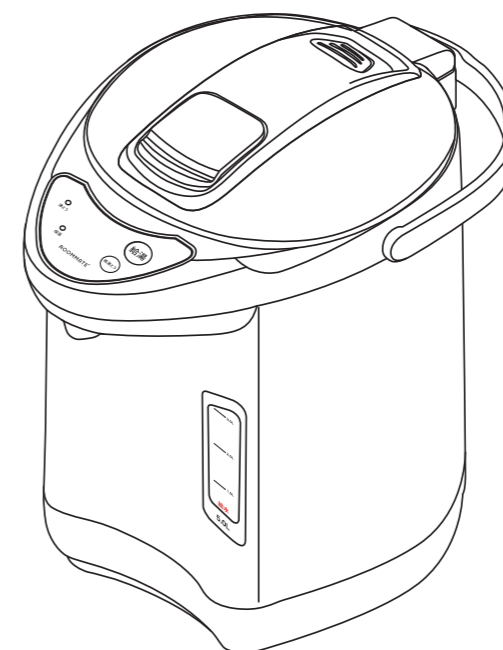
# RM-242H

## BIG電気ポット5L

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。  
 安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。また、本取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。  
 「保証書」はお買い上げ日・販売店名の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## 一般家庭用

この商品は海外では使用できません。  
 FOR USE IN JAPAN ONLY



## もくじ

安全上の注意	1～3	お手入れ方法	11～12
各部の名称	4～5	故障かな?と思ったら	13
操作パネル	6	MEMO	14～16
フタの取扱い方	7～8	製品仕様	17
使い方	9～10	アフターサービス	18

## 安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。本文をお読みになり、正しくご使用ください。

### 表示の説明

#### 警告

「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷\*1を負うことが想定されること」を示します。

#### 注意




「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害\*2を負うことが想定されるか、または物的損害\*3の発生が想定されること」を示します。

\*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温-低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

#### 警告

	<b>改造をしない。また、修理技術者以外の方は分解したり修理をしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。
	<b>濡れた手で電源コードを抜き差ししない</b> 感電の原因になります。
	<b>本体を水につけたり、水をかけたりしない</b> ショート・感電・故障のおそれがあります。 <b>水のかかりやすい場所で使用しない</b> ショートによる感電のおそれがあります。

### 図記号の説明



禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

ⓘは、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## 安全上の注意



禁止

**乳幼児の手の届くところに置いたり、使わせない**  
感電・けがをするおそれがあります。

**強い衝撃を与えない**  
本体破損や動作不働、またはけがの原因になります。

**電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない**  
感電・ショート・発火の原因になります。

**電源コードを傷つけない**  
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると破損し、火災・感電の原因になります。

**本製品は国内専用的一般家庭用です**  
**交流100V 50/60Hz以外の電源の使用や業務用として使用しない**  
破損及び火災の原因になります。

**ピンなどの異物を入れない**  
感電・ショート・発火の原因になります。

**乳幼児に電源プラグを舐めさせない**  
感電やけがの原因になります。乳幼児が誤って舐めないよう注意してください。



必ず実施

**異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く**  
発煙・火災・感電のおそれがあります。

(異常な例)

・異常な臭いがする

・電源プラグが異常に熱くなる

→使用を中止し、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。



必ず実施

**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差込む**  
発煙・火災・感電のおそれがあります。

**定格15A以上のコンセントを単独で使う**

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

**電源プラグの刃(プラグの先端)および刃の根本に付着したほこりを取る**  
火災の原因になります。

## 安全上の注意

### ⚠ 注意



禁止

**火気の近くでは使用しない**  
感電・漏電・変形の原因になります。

**家具やカーテン、壁の近くで使用しない**  
変色、シミ、変形の原因になります。

**高温になる場所に置かない**  
また、そのような場所で使用しない  
本体の変形・変色の原因、また火災の原因になります。

**平でない場所や高い場所で使用しない**  
振動で本体が倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**本製品の部品を他の機器に使用したり、他の機器の部品を本製品に使用しない**  
けが、感電、火災の原因になります。

**使用中、使用直後は高温部分に触れない**  
蒸気口やフタなど熱くなっている部分に触れないでください。やけどの原因になります。

**加熱中は絶対にフタを開けない**  
やけどの原因になります。

**フタが完全に開かない場所に置かない**  
やけど、破損の原因になります。

**蒸気口に顔や手を近づけない**  
蒸気に触らない  
やけどの原因になります。

**水以外のものを入れない**  
また、お茶を煮出さない、氷を入れない  
故障の原因になります。

**空焚きをしない**  
故障の原因になります。

**蒸気口をふきんなどでふさがない**  
やけど、故障の原因になります。

**勢いよくフタを閉めない**  
けが、破損の原因になります。



プラグを抜く

**使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く**  
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

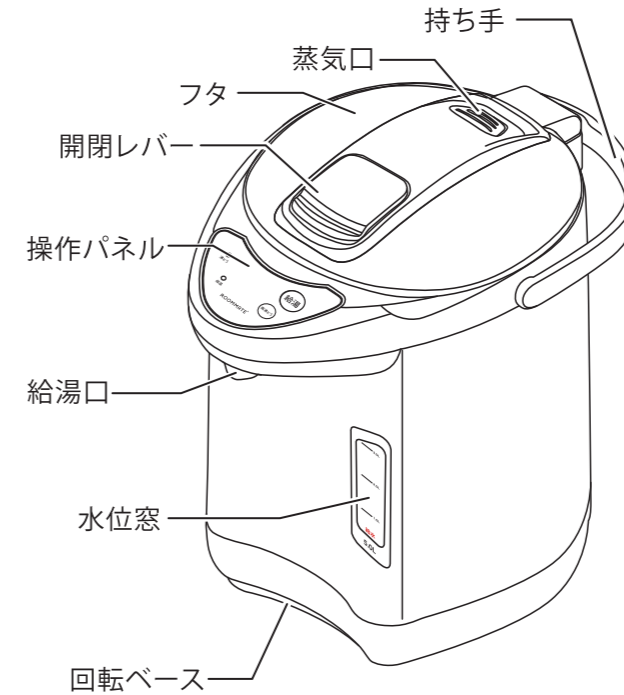


必ず実施

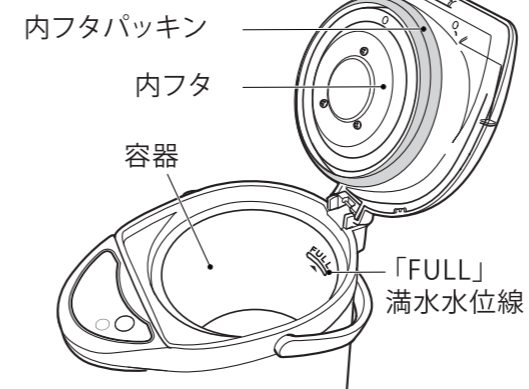
**電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**  
コードが破損して感電・ショート・発火の原因になります。  
**廃棄の際は、市区町村にご相談ください。**

## 各部の名称

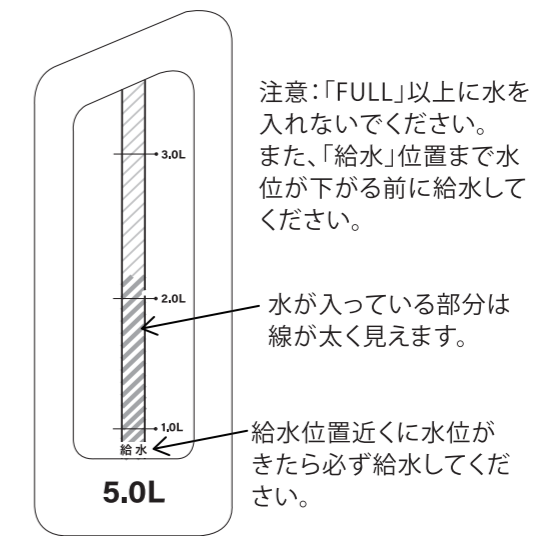
【本体】



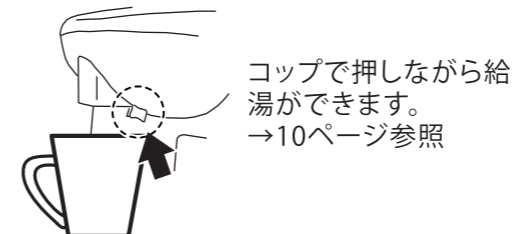
【本体内部】



【水位窓】

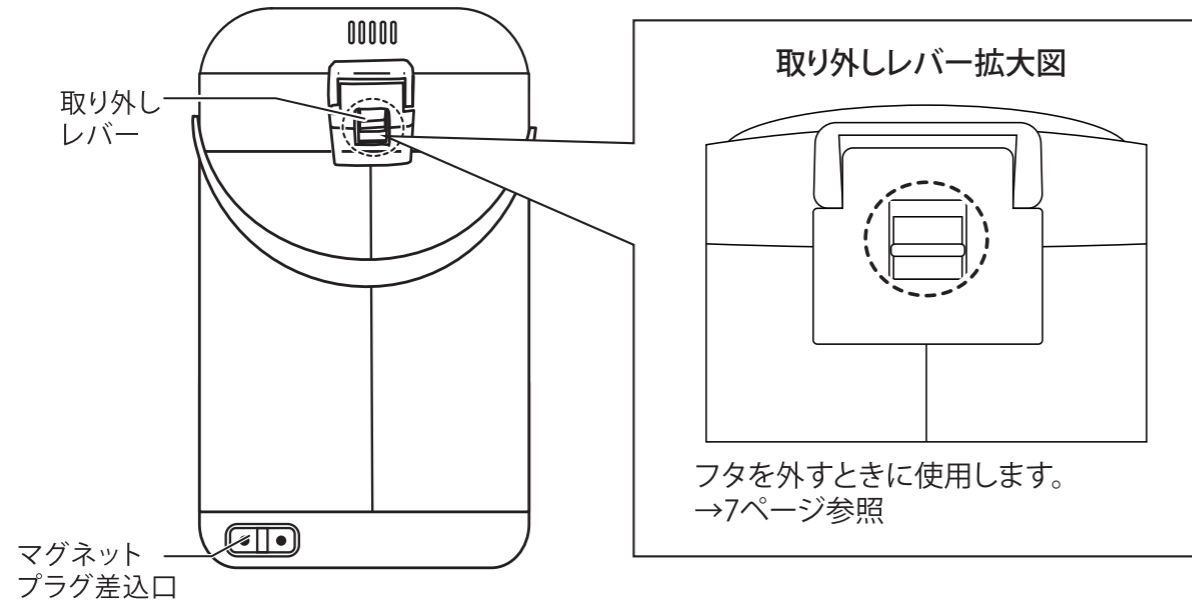


【カッププッシュスイッチ】



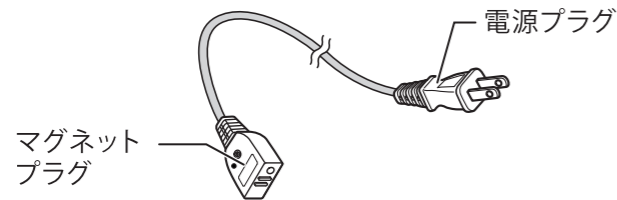
## 各部の名称

### 【本体背面】



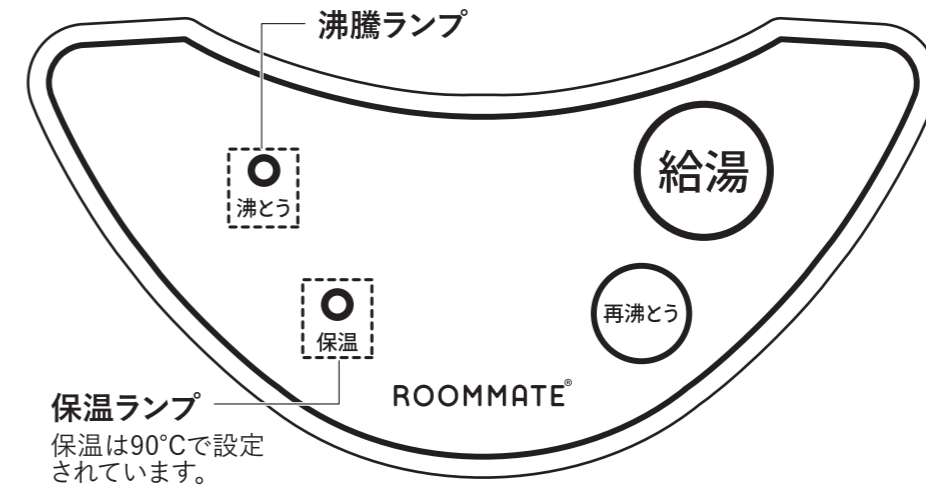
### 【付属品】

電源コード



本機専用の電源コードです。  
絶対に他製品の電源コードなどを使用しないでください。  
※故障や重大な事故に繋がる恐れがあります。

## 操作パネル



給湯

ボタンを押すと、給湯が開始されます。

再沸とう

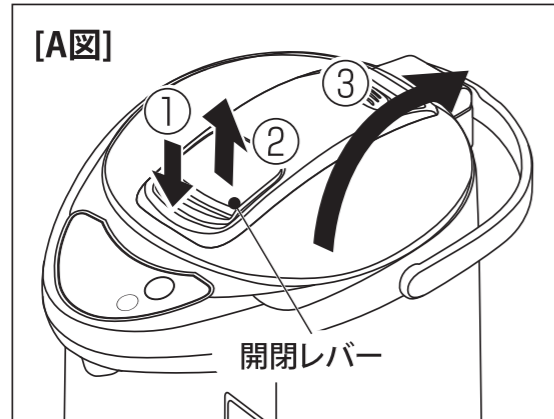
保温中のお湯を再び沸かすときや、カルキ抜きのために使います。

## 【フタの開け方】

# フタの取扱い方

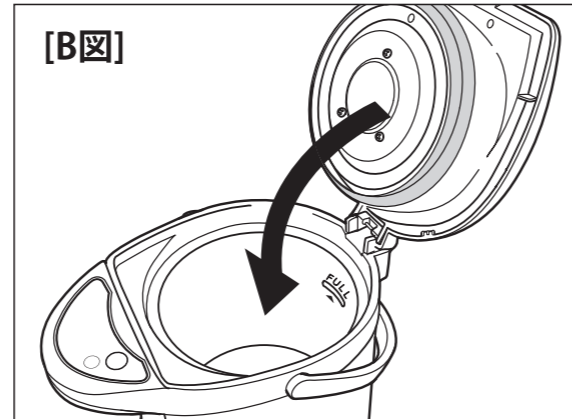
※フタを取扱う際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

## 【フタの開け方】



開閉レバーを①の方向に押し、②のレバーを押し上げフタを開けます。

## 【フタの閉め方】

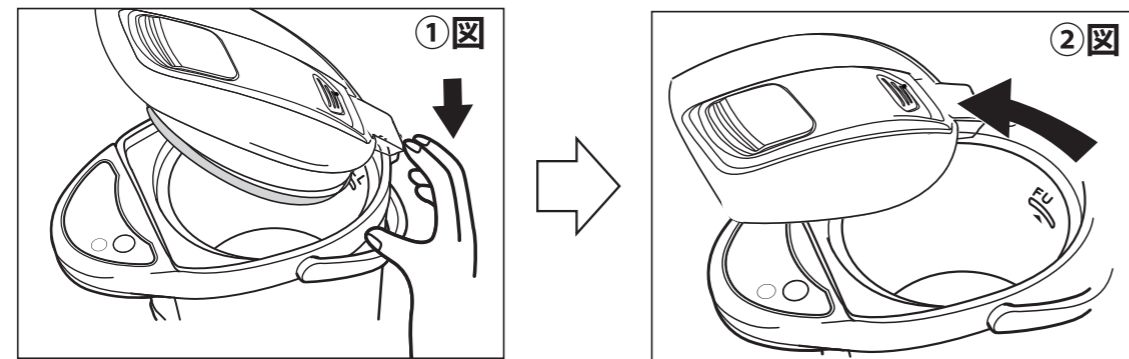


フタを矢印の方向に閉め、「カチッ」と音がするまで押し込みます。最後に[A]図の①を押し、確実にフタを閉めます。

安全上、開閉レバーはフタが正しく閉まっていないとロックしません。  
[A図]の①をしっかり押し確実にロックさせてください。  
閉まりにくいのは不具合ではありません。

## 【フタの外しかた】

※必ず取り外しは冷めてから行ってください。

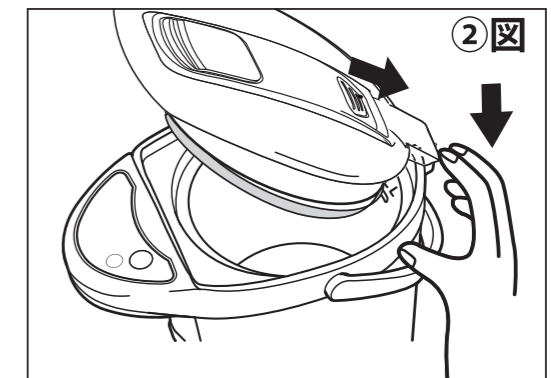
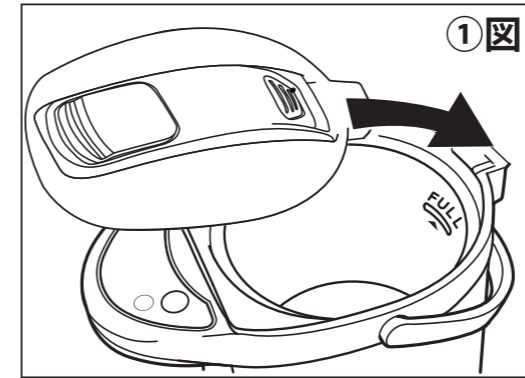


まず、①図のように少しだけフタを開けた状態で、背面の取り外しレバーを下に押しします。次に、取り外しレバーを下に押ししたまま、②図のようにフタを前方向に引き抜くとフタが外れます。

次ページへ→

# フタの取扱い方

## 【フタの取り付けかた】



※フタを立てた状態では取り付けができません。

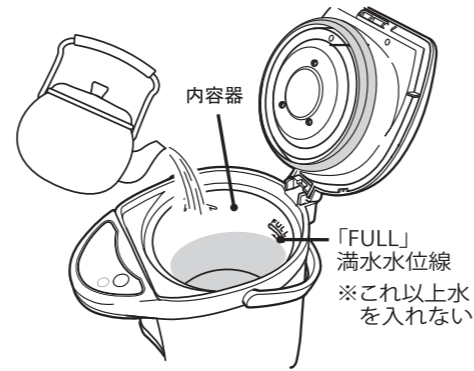
まず、①図のようにフタ裏面の金属軸をフタ取り付け部に斜め前方から差し込みます。次に、②図のように取り外しレバーを下に押しながら、フタを斜めに差し込みます。最後に、正確に取り付けられていることを確認して、フタをしっかり閉めます。

## 使い方

初めてお使いのときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、何度か給湯して残り湯を捨ててからご使用ください。また、使い始めはプラスチックや金属の臭いがすることがありますが、ご使用とともに臭いは少なくなります。

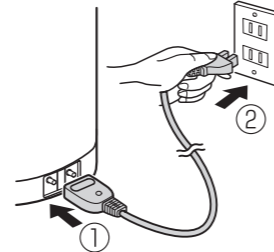
### 1 容器に水を入れる

- ①フタを開け、やかんなどを使用して容器に水を入れます。  
※水道の蛇口から直接水を入れしないでください。本体・操作パネルに水がかかり、感電や故障の原因になります。
- ②「カチッ」と音がするまでフタを確実に閉めます。  
※蓋が確実に閉まっていないと、転倒したときに熱湯が溢れてやけどになるおそれがあります。



### 2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ①マグネットプラグを本体マグネットプラグ差込み口に接続します。
- ②電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③通電すると湯沸かしが始まります。  
通電後のランプ表示は下記の表を参照ください。



	沸とうランプ	保温ランプ
① 湯沸かし中	赤点灯	消灯
② 沸騰後	消灯	緑点灯

### 3 お湯を注ぐ

<沸騰するまでの目安時間>  
5L:約40分(室内25℃の場合)  
※室温などの条件が変わると時間は前後します。

#### ⚠注意

- 湯沸かし直後はフタを開けないでください。  
・高温の蒸気でやけどをするおそれがあります。
- 湯沸かし中は給湯しないでください。  
・やけどをするおそれがあります。
- 蒸気口をふきんなどでふさがしないでください。  
・やけどをするおそれがあります。

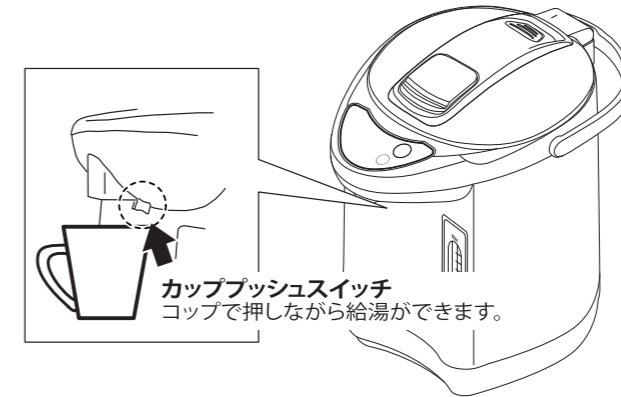
## 使い方

### 電動給湯

- 給湯ボタンを押し、お湯を注ぎます。

### カッププッシュスイッチ

- 給湯口の後ろにあるカッププッシュスイッチを直接容器で押し上げるとお湯が出ます。



3

#### ⚠注意

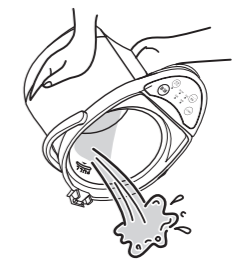
- 水をつぎ足すときは、蒸気に触れないよう注意してください。  
・高温の蒸気でやけどをするおそれがあります。
- 1杯目のお湯は、ぬるくなることがあります。
- 沸騰後、しばらくお湯が出にくくなることがあります。
- お湯が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。
- 最後まで給湯しても、少量の湯が容器内に残ります。空焚き防止のため、異常ではありません。

### 再沸とう

- 主に保温中のお湯を再び沸かすときや、カルキ抜きで使用します。  
※再沸とうさせるときは、給水水位線以上のお湯が入っていることをご確認の上で再沸とうボタンを押ししてください。
- 再沸とうが終わると保温ランプが緑色点灯に変わります。

### 電源プラグをコンセントから抜き、残り湯を捨てる

- ①使用後は電源プラグを抜きます。
- ②残り湯を捨てます。  
※必ず残り湯を捨ててください。残り湯を放置すると、容器の変色や腐食の原因になります。



4

## お手入れ方法

- 必ず本体が冷めてからお手入れを行ってください。

### ⚠注意

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・通電状態でお手入れをすると、感電やけがの原因になります。
- ベンジン・クレンザー・たわしなどを使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機や、食器乾燥機は使用しないでください。
  - ・動作不動、感電のおそれがあります。
- 本体内部以外の丸洗いはできません。本体に水をかけないでください。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

### 本体

- きれいな布などで拭き取り、乾拭きをします。

### 本体内部

ご使用いただいているうちに、水に含まれるミネラル成分(カルシウム、マグネシウム、鉄分など)が本体内部に白い固形物になって付着したり、お湯の水面で浮遊します。また、容器の底に無数の斑点が出ます。これは水垢で衛生上問題はありますが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行ってください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

- 通常のお手入れ:濡れたスポンジ等で拭き、水を入れてすすぎます。  
お手入れ後は十分に乾燥させてください。

### クエン酸洗浄

- ①容器の「FULL」満水水位線まで水を入れ、クエン酸(市販品)を、約50~80g入れて混ぜます。
- ②フタを閉めてお湯を沸かした後、約2~3時間保温にします。
- ③給湯ボタンを押してクエン酸を入れたお湯を全て出します。
- ④コンセントから電源プラグを抜き、本体が冷めてから濡れたスポンジで擦ってすすぎます。
- ⑤クエン酸の臭いを取るために、「FULL」満水水位線まで水を入れ、お湯を沸かします。
- ⑥給湯ボタンを押してお湯を全て出し、残ったお湯も全て捨てます。
- ⑦最後に、キッチンペーパーで容器を吹き上げます。

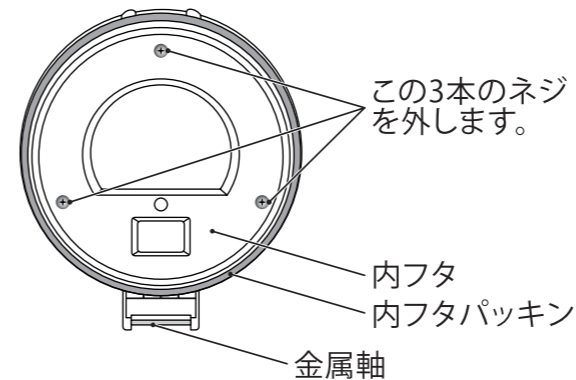
## お手入れ方法

### 内フタパッキン

フタのすき間から蒸気が漏れ出したら、新しい内フタパッキン(有償)と交換してください。交換の際は、お買い求めの販売店、もしくはサービスセンターまでお問い合わせください。

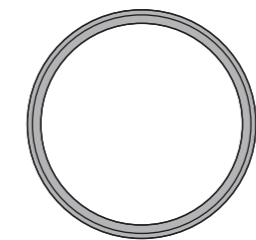
#### 【内フタパッキンの取り替え方】

- ①内フタ3本のネジを外します。

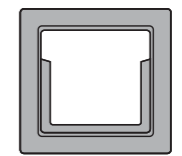


- ②交換するパッキンを付け替えます。

※パッキンを交換する際は、元の状態(各部分の向きや取り付け場所)を確認した上で行ってください。

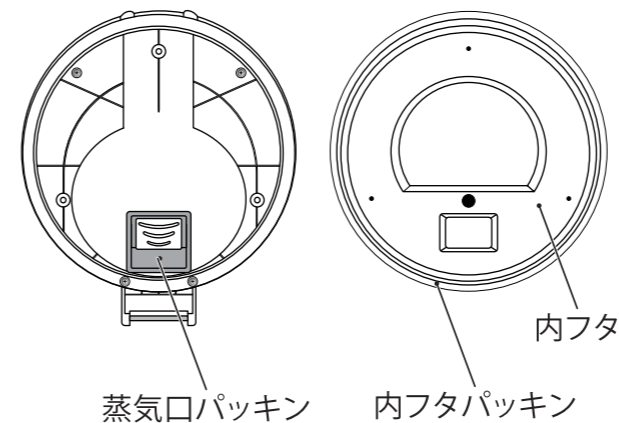


内フタパッキン



蒸気口パッキン

パッキンと内フタを外した状態。



### フタ

- ◆普段はフタを外して丸洗いします。  
※しっかり水気を取り、乾燥させてから本体に取り付けてください。





## 製品仕様

品名	BIG電気ポット5L
品番	RM-242H
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	650W
重量	約2200g
コードの長さ	約1386mm
サイズ	約(W)210×(D)300×(H)390mm
ポット容量	5.0L
温度ヒューズ	133℃
セット内容	本体、電源コード、保証書兼取扱説明書

## アフターサービス

### 1.保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 2.保証期間は、お買い上げ日より1年間

お買い上げ日の確認ができるレシートや注文書の控えがない場合、または購入履歴が確認できない場合は、ご対応が有償になる場合があります。

### 3.修理を依頼される時

「故障かなと思ったとき」をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご希望により有料修理いたします。

### 4.補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5年間

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

#### 愛情点検



#### 長年ご使用の給湯ポットの点検を！

こんな症状はありませんか

- ご使用中、電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。